

ふるさと検定問題集を発行しました

市では、郷土を愛し、慈しみ、郷土を活性化できる人づくりを目指し「郷育立市」構想を推進しています。

郷育の原点は、郷土にあります。郷土の魅力を発掘し、明日の常陸大宮市を担う子どもたちに、市の財産として引き継いでいきたいと考え、身近な情報などを昨年7月～9月に公募し、「ふるさと検定問題集」を発行しました。

情報等をお寄せいただきました方々に感謝申し上げますとともに、市内には、まだまだ紹介する魅力があると考えています。今後も市民の皆さんとともに、「ふるさと検定問題集」の内容を充実させていきたいと思いますので、情報を教育総務課（☎53-6500）までお寄せください。

なお、希望者には1冊300円で販売しています。



ふるさと
自慢

自然や
人の紹介

こんな
場所も!?

仕事・うまい物
・見どころ

昔のこと・
出来事

市の案内

販売場所	市役所教育総務課、歴史民俗資料館大宮館、文書館
発行部数	2,000冊
サイズ	A 5 版、134ページ
価格	1 冊 300円

■問い合わせ■ 教育総務課 ☎53-6500（直通）

問題にチャレンジ!!

□に当てはまる言葉は何でしょう

問題 1

野口地区には、徳川齊昭が設置した郷校の一つで、1850年（嘉永3年）に開館した建物があり、□といわれています。ここでは和漢、医学、武芸などを学び、藩内外から数多くの学徒が集まりました。



問題 2

山方地域には硯^{すずり}の原石があります。□は粘板岩で1億5000万年以前の海底で泥が堆積してでき、一定の方向に割れる性質をもったものです。

この石は、水戸藩が「御留石^{おとめいし}」として一般人の採取を禁じていたと伝えられています。



問題 3

鬼板とは、箱棟の両端に鬼瓦の代わりとして取り付ける木製の棟飾りで、鬼の面がないものをいうと一般的に言われていますが、三浦杉がある□には、本殿その他にもすばらしい鬼の面が付いています。



答えはP.16にあります

情報提供をしていただいた 佐藤誠さんにインタビュー

佐藤さんは、美和生まれの美和育ち。

副区長を経て、区長になって4年。毎年、小田野区活性化事業を行い、その活動をとおして、住民同士のつながりや地域の連帯感を高めたいと考えています。

今回、5件の情報を提供していただきました。



Q 今回の「ふるさと検定問題集」をどう思いますか？

とても良いものができたと思います。市についてのいろんな情報が詰まっていますね。特に美和地域は、文化財など歴史的に重要なものが多いと感じます。

Q この問題集の良いところはどんなところですか？

一つの問題をきっかけに、気になる出来事について深く掘り下げることができると思います。以前、吉田八幡神社の伝説「九尾の狐」について、調べてみたことがあるんですよ。

気になる情報については、ぜひ調べてみることをおすすめします。

Q どんな活用方法が考えられますか？

6月7日に地区の活性化事業として、小田野の川を探索するイベントを行いました。その参加者に問題集を配ったので、さらなる市の魅力を発見してもらえればと考えています。

また、秋田県では商工会議所が中心となり「秋田ふるさと検定」を行って、ふるさとを知ってもらう取り組みに力を入れています。市でも実施してみてもいいのではないでしょうか。

Q 最後に一言

この問題集を様々な場面で活用して、地域の特色をPRすることに役立ててほしいと思います。

佐藤さん、ご協力ありがとうございました。

問題集はこれから改訂を行いながら、さらなる充実を目指していきたいと思っています。